

映画から見る中東社会の変容

中東—「西」と「東」を繋ぎとめ、人類史の初期の時代から登場し、多くの民族、言語、文化、宗教、思想を育んできた文明と知の発祥の地。長い時代を通じて、様々な王朝や国家が現れては消え、平和と戦争が繰り返されてきました。

しかし、そこに変わらずあったものは人々の日々の生活であり、それぞれの人生の物語でした。

かの地の作り手たちの眼差しを通じ、この地域の移りゆく社会について学び、そこに生きる人々の生活や人生について考えをめぐらせてみようという会です。どうぞふるってご参加ください。



بكر من تنوف

Tomorrow We Will See

A documentary by Soraya Umewaka

【監督との対話】

今回の研究会では、梅若ソラヤ監督ご自身に作品の解説をしていただく予定です。ふるってご参加ください。
(使用言語: 英語および日本語)

*『明日になれば』は米国・豪州・ヨーロッパ各国のフィルム・フェスティバルその他で上映され、高く評価されています。Bader young Entrepreneur Jury's prize 2012 受賞(2012年)。National Geography's International "All Roads Film Festival" (2012年)第一位。

【今回のテーマ「表現」】

「書くことで、芸術作品で、自分たちを表現することができるかぎり、人々は癒されるんだ。」内戦の不安が続くレバノンのベイルートで、若いアーティストたちは何を考え、何を求めてそれぞれの活動を続けているのか。本研究会では、このドキュメンタリー作品を通して「表現すること」や「生きること」の意味を考えてみたい。

第14回目の題材

『明日になれば』

2012年 レバノン／梅若ソラヤ監督作品

アラビア語音声、日本語・英語字幕

日時: 2014年12月8日(月) 18:30-20:30

会場: 東京大学 東洋文化研究所 3階 大会議室

コメント: 黒木英充氏 (東京外国語大学・アジア・アフリカ言語文化研究所・教授)

※ どなたでもご参加いただけます
準備の都合上、事前に参加希望の
ご連絡をお願いします

mecinema2014@gmail.com

※ 参加は無料です

【主催】中東映画研究会

【共催】東京大学・東洋学研究情報センター・セミナー
東文研・班研究「中東の社会変容と思想運動」
お問い合わせ mecinema2014@gmail.com